

施策番号	2002		
施策名	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり		
概要	歩行者と公共交通を最優先とする快適な道路空間を構築するとともに、通過交通の抑制、物流対策、駐車場施策、パークアンドライドなどの適切な自動車利用の抑制策を推進する。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	パークアンドライドの利用者満足度(%)	b	b	94.7	98.2	98.0	100.2%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	b					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※	
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数		
1	歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。	a	b	144 20.9%	296 43.0%	163 23.7%	47 6.8%	38 5.5%	688	-	
2	まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。	d	d	24 3.6%	87 13.0%	245 36.6%	159 23.8%	154 23.0%	669	-	
3	-	-	-							-	
4	-	-	-							-	
5	-	-	-							-	
市民生活実感調査総合評価		b	c								-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☒ 客観指標	市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。				
	☐ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。
- ・「歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている」という設問に対して否定的な回答（「どちらかというとそう思わない」・「そう思わない」）の割合が増加したことや、自動車分担率は減少傾向にある一方で、目に見える形で渋滞の減少が実感されていないことから「まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている」が引き続きd評価となったことなどから、c評価以下になったと考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・まちなかや観光地における自動車渋滞の解消を目指し、パークアンドライドの利用促進、自動車利用の抑制策を推進する。
- ・人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて、都市計画をはじめ、環境、福祉、教育、景観、産業などの幅広い分野の政策と融合した取組を進める。

施策名	2002	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり					
指標名	パークアンドライドの利用者満足度(%)						
担当課	歩くまち京都推進室		連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3			
1 指標の説明 秋の観光シーズンに開設している臨時パークアンドライド駐車場の利用者アンケート調査における「満足している」及び「どちらかといえば満足している」とする回答の割合							
2 指標の意味 パークアンドライド駐車場の利用者の満足度を示す指標			3 算出方法・出典等 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	94.7	98.2	3.5ポイント増	98.0	過去最高値（平成23年度）	100.2%	
	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-			-			
5 評価基準 単年度目標値の達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満			6 基準説明 臨時パークアンドライド利用者アンケート調査において、「満足している」及び「どちらかといえば満足している」と回答した割合について、目標値の達成度が100%以上の場合をaとし、以下20%刻みで設定した。		7 評価結果		
					平成30	令和元	令和2
					b	b	a